

参画機関

主幹機関:名古屋大学 共同機関:豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、名城大学、中京大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立芸術大学、椋山女学園大学、光産業創成大学院大学、愛知県立大学、静岡大学、浜松医科大学、南山大学、豊田工業大学、金城学院大学、中部大学 幹事自治体:愛知県、岐阜県、名古屋市、浜松市 協力機関:日本ベンチャーキャピタル、Beyond Next Ventures、ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ、MTG Ventures、Technology Partnership of Nagoya University、シンガポール国立大学、ノースカロライナ州立大学、アカデミック・ギャングスター、中部経済連合会、浜松地域イノベーション推進機構、浜松磐田信用金庫、名古屋銀行

目指すスタートアップ・エコシステム

ビジョン「ものづくり産業集積地としての基盤を活かした“ディープテックイノベーション”のグローバル拠点形成」を掲げ、スマート社会「Tech Innovation Smart Society」を具現化するスタートアップ・エコシステムを実現する。10,000人/年が受講できるアントレプレナーシップ教育を提供し、起業活動支援により、本PFから累計180社以上の大学発ベンチャーの創出を目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

研究開発課題は令和4年度は24件(補正予算)、令和5年度は10件、令和6年度は15件(うち5件は民間資金等を活用)、令和7年度は20件(うち10件は民間資金等を活用)を予定している。

- ・シーズライブラリを活用した技術の発掘を行う。
- ・選考前の仮説検証プログラム実施により技術からビジネスモデルへの展開を図る。
- ・選考後はメンターによるハンズオン支援・起業教育プログラムを実施する。
- ・拠点都市と連携したDemo Dayでの発表機会を提供、継続支援を行う。

(3) 起業環境の整備

起業を志す研究者・学生が、自らの起業フェーズを明確に理解し、次のステップへの必要な支援を受けられる環境整備を行う。

- ・起業を志す研究者・学生・社会人の活動拠点をプラットフォーム内に作ると共に、プロトタイプ製作のためのサポート機能を提供する。
- ・起業相談窓口の機能拡充やPF内起業ルールの高度化を図る。
- ・実証試験やコミュニティ形成のための支援プログラムを提供し、学生・教員・支援者・企業等を繋げる広くて濃いネットワークを構築する。

活動成果

令和4年度のGAPファンドは、「モノづくり系」と「医療系」の分野別と、タイプA・Bのステージ別の計4タイプを実施した。44件のエントリー中、18件のテーマを採択し、採択チームには、メンタリング等のインキュベーションプログラムを行った。共同機関を含めた17大学でアントレプレナーシップ教育を進めて、84科目の提供、のべ5800人以上が参加している。その他にも起業環境を進めるためのコミュニティ形成に力を入れると共に、起業相談窓口の機能拡充やPF内起業ルール(利益相反等)の高度化も図った。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

希望するすべての学生等がアントレ教育を受講できる教育体制を構築し、起業支援までの深度を高めた教育・育成を行う。

- ・アントレ教育の裾野を拡大し、PF全体で10,000人/年が受講できる体制を構築する。
- ・マインドセット、スキルセット、実践フェーズのプログラムを開講する。
- ・5年後、全機関の全学教育等でマインドセットステージの教育を行う。

(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

本地区のスタートアップ・エコシステム拠点都市の運営機関の1つとして、ビジョン・KPI達成に向け取り組む。

- ・拠点都市コンソーシアムと連携して、地域全体でのスタートアップ起業～成長までの支援を面で実施していく。
- ・DemoDayの拡大、プロトタイプ展示等の拠点都市接続イベント開催により、エコシステムの発展を図る。
- ・海外ベンチャー先進地域や他の国内グローバル拠点都市との連携を活発化させる。